

令和6年度 教育の推進について・教育予算の概要・主な施策

学校教育

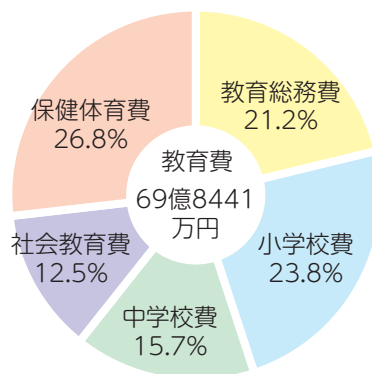
本年度は、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とする「教育振興基本計画」の中間年となります。子どもたちにより良い学びの場を提供するとともに、教員が健康で、生き生きと働き続けられるよう、働き方改革をさらに推進します。

児童・生徒に寄り添いながら、きめ細かな教育活動に邁進し、自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができるよう、心身ともに健全・健康で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな「たくましい昭島っ子」の育成に努めます。

併せて、児童・生徒が学んで楽しい、先生が教えて楽しいと実感できる、楽しい学校づくりに邁進します。

教育予算の概要

本年度昭島市一般会計予算総額は506億7300万円のうち約13.8%が教育費に充てられています。



主な施策

教育や青少年育成に関する主な施策のうち、新規事業を中心に紹介します。(金額は予算額／1万円未満は四捨五入)

◆スクール・ロイヤーの導入(125万円)

いじめなどの課題に対応するため、法的な助言などを行うスクールロイヤー(弁護士)を設置します。

◆エデュケーション・アシスタント配置事業(4414万円)

授業の質の向上や教員の負担軽減のため、全小学校に担任の業務を補佐するエデュケーション・アシスタントを配置します。

◆公立小中学校給食費無償化(5億1017万円)

学校給食費の公会計を行うとともに、保護者の負担を軽減するため、給食費の無償化を実施します。

◆みほり体育館空調機器設置工事(1592万円)

安全・安心なスポーツ・レクリエーション環境の充実のため、みほり体育館の空調機器設置工事を実施します。

昭島市一般会計予算概要

<教育委員会関係>について、市HPにて公開しています。→

☆詳しくは、教育総務課庶務係へ



生涯教育

誰もが生涯にわたり必要なときに必要な学びを通して成長し、市民それぞれのニーズに応じた多様な学習の機会を確保することができるよう、教育振興基本計画に掲げた目標「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」を基本に、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など、市民の自主性を尊重した生涯学習を推進します。

項目・金額	内容
教育総務費 14億8094万円	・教育相談 ・奨学金等支給事業 等
小学校費 16億5810万円	・校舎等維持管理 ・教育振興、特別支援教育事業
中学校費 10億9859万円	・学校保健衛生 ・コンピュータ教育事業 等
社会教育費 8億7430万円	・文化財保護 ・青少年育成事業 等
保健体育費 18億7248万円	・施設等運営管理 ・学校給食事業 等

市制施行70周年記念事業

5月1日に市制施行70周年を迎えるにあたり実施される記念事業のうち、教育費で実施する事業を一部紹介します。

◆(仮称)あきしま子ども未来会議開催事業(19万円)

「子どもまんなか社会」の実現に向け、子どもたちの意見聴取・表明のためのワークショップを開催します。

◆階段アート設置事業(56万円)

市内の各駅の階段に中学校6校で作成した市制施行70周年記念のイラストを設置します。

◆図書館総合展 地域フォーラム開催事業(8万円)

ICTを活用した利便性の高さや多彩な学習環境等を広く周知し、昭島市全体の認知度向上を図るため、地域フォーラムを開催します。

◆子ども国際交流音楽祭開催事業(60万円)

近隣市町村と連携し、子ども達が一流の音楽家から指導を受けられる機会や、音楽の都ウィーンの演奏者によるコンサートを開催します。

●上記の他、教育費では下記の記念事業を実施します。

◆小学生国内交流事業(63万円)

◆記念コンサート開催事業(20万円)

◆文化財講演会開催事業(3万円)